

工事名 平成25年度農道整備(一般・農道保全)遠州森町地区(森工区)農道舗装10工事

工期短縮と安全性について創意工夫

袋井地区
(株)大浜中村組
工事課 ソノハ 染葉 トモヒロ 智広

工事概要

発注者:静岡県中遠農林事務所

工事場所:周智郡森町森

工期:平成26年1月27日～平成26年3月20日

工事内容

舗装版取壊工(バックホウ掘削)	4767m ²
路盤撤去運搬工	238m ³
路上再正路盤工(混合深15cm・17cm)	4767m ²
基層工(粗粒度AS20 厚50mm)	4767m ²
表層工(密粒度AS20 厚50mm)	4767m ²
区画線工	1式

施工箇所(広域農道中遠線)は、供用開始後10年以上が経過し、近年の社会情勢の変化等による交通量の増加やそれに伴う施設の老朽化により、一部区間では舗装に段差が生じるなど、農産物の安全な輸送と車両交通の安全確保に支障が生じている。更に平成26年3月には新東名高速道路森掛川PAにスマートインターチェンジが完成する予定である。このことから今後更に本道路を利用する車両交通量の増大が見込まれることから、舗装の打ち換えを全面的に行う工事である。



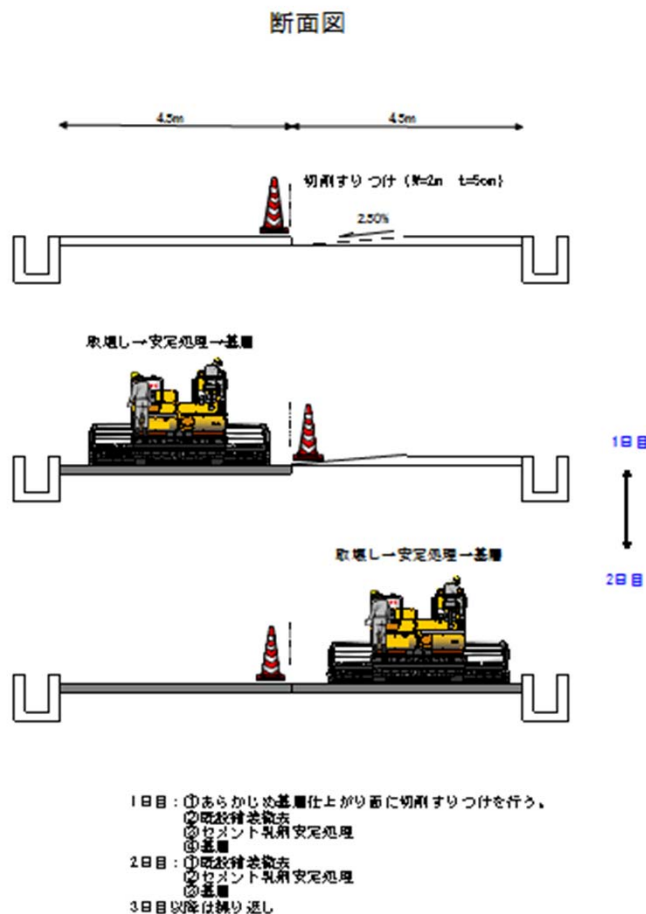
本工事の問題点

- ① 本工事は、舗装版取壊し→路盤掘削撤去→路上再生路盤→基層までの4工程を1日のサイクルとして日々施工するものである。
当初設計通りバックホウにより舗装版取壊し・路盤掘削撤去を行った場合の施工延長は、50m程度/日が予想される。本工事は539mなので実稼働日数22日となる。
着手日は準備期間等を考慮し最短で2月20頃となる。
表層と区画線で6日必要であり、雨天を考慮すると工期が間に合わないことが判明した。
- ② 縦断方向に5cmのスリツケが必要となり、通常アスファルト合材でスリツケを行うが、合材の飛散による二輪車の転倒などが懸念される。

問題点に対する対策

解決策として、舗装版取壊し・路盤掘削撤去の2工程について使用機械をバックホウから切削機に変更した。

- ① 切削機を使用した場合、本道路上の過去の施工実績で施工延長が120m～150m/日となっている。したがって本工事での実稼働日数8日～10日となる。10日以上短縮が可能となり、工期も遵守することができる。
- ② 当日施工する反対車線に切削スリツケを施す。切削のため飛散の心配は無くなる。また、幅2.0mのスリツケのためアスファルト合材スリツケより勾配も緩くより安全である。



切削スリツケ状況



切削スリツケ完了



舗装版切削状況



路盤切削状況



対策の結果

- ① 短縮日数は予定通り9日となった。
工期については、5日間の余裕をもって現場を終えることができ、作業員も休暇をとることができた。
- ② 切削スリツケは安全性が確保でき、事故も無く現場を終えることができた。